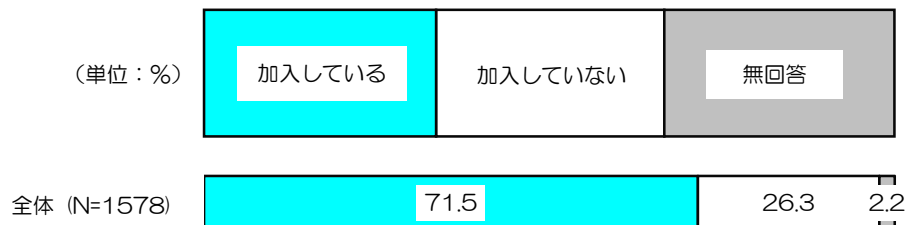


2 自治会について

(1) 自治会への加入

問 1 1. あなたは、自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

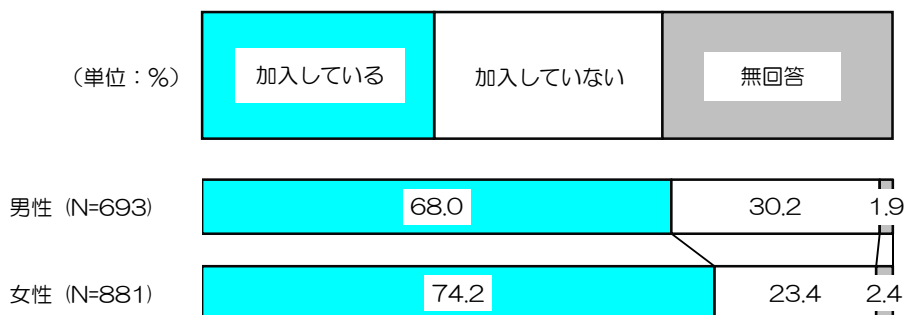
〔図表 2-1 自治会への加入〕



【全体の考察】

自治会への加入をたずねた。「加入している」が71.5%で、「加入していない」が26.3%となっている。(図表2-1)

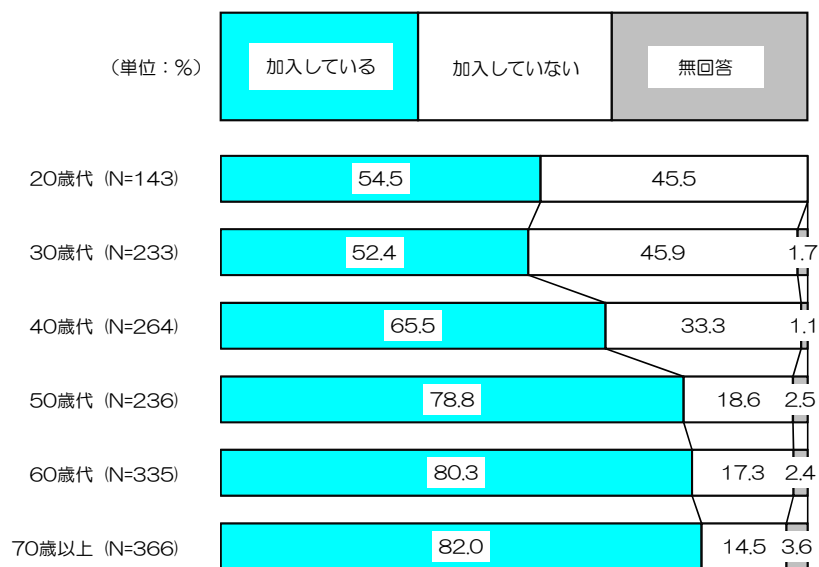
〔図表 2-1-1 自治会への加入（性別）〕



【性別の考察】

性別にみると、「加入している」は『女性』が『男性』を6.2ポイント上回っている。(図表 2-1-1)

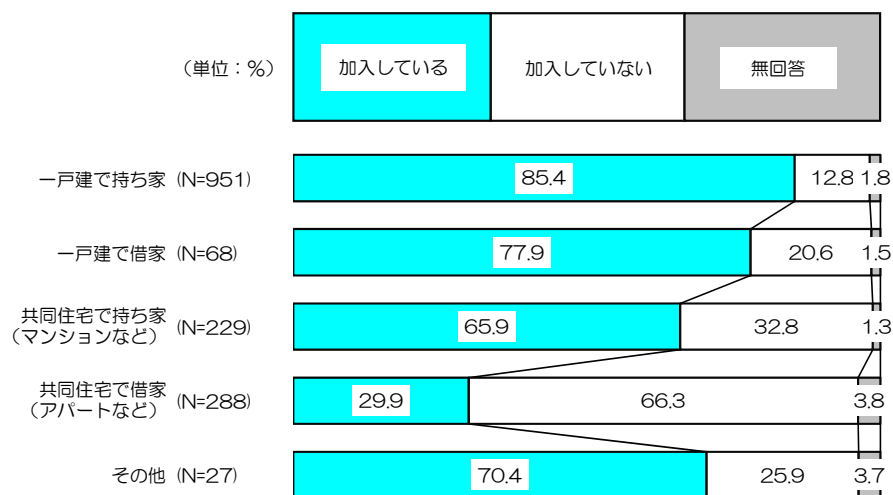
〔図表 2-1-2 自治会への加入（年代別）〕



【年代別の考察】

年代別にみると、加入率は年代が上がるにつれ高くなっており、『20～30 歳代』では5割強～5割半、『40 歳代』では6割半、『50 歳以上』では8割前後となっている。（図表 2-1-2）

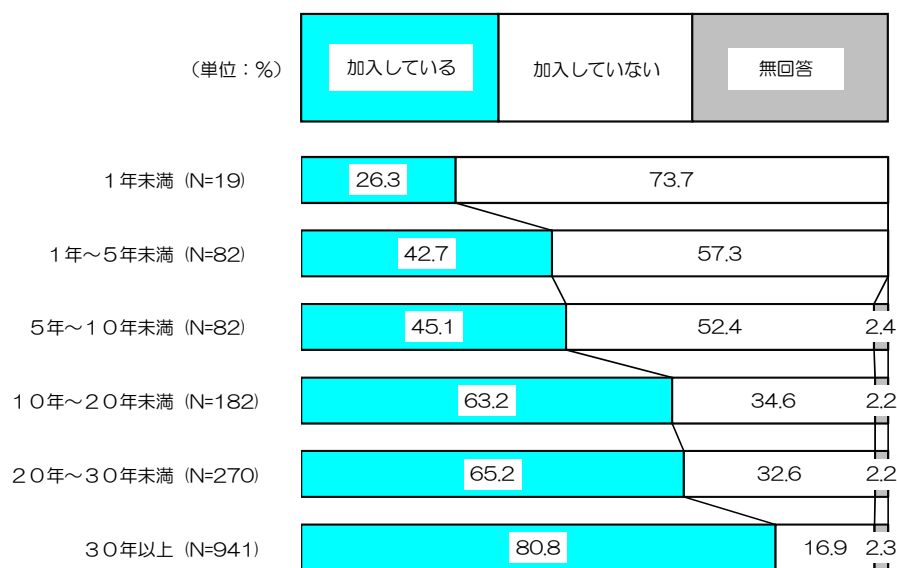
〔図表 2-1-3 自治会への加入（住宅状況別）〕



【住宅状況別の考察】

住宅状況別にみると、加入率は『一戸建で持ち家』で85.4%と最も高く、『共同住宅で借家』で29.9%と最も低くなっている。（図表 2-1-3）

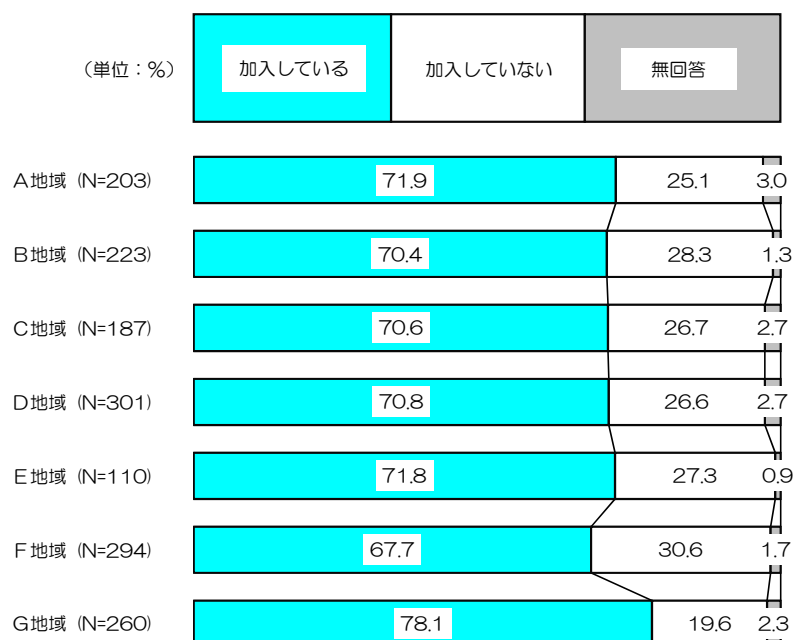
〔図表 2-1-4 自治会への加入（居住年数別）〕



【居住年数別の考察】

居住年数別にみると、加入率は年数が長くなるにつれ高くなっており、最も高い『30年以上』では80.8%、最も低い『1年未満』では26.3%となっている。(図表 2-1-4)

〔図表 2-1-5 自治会への加入（居住地域別）〕



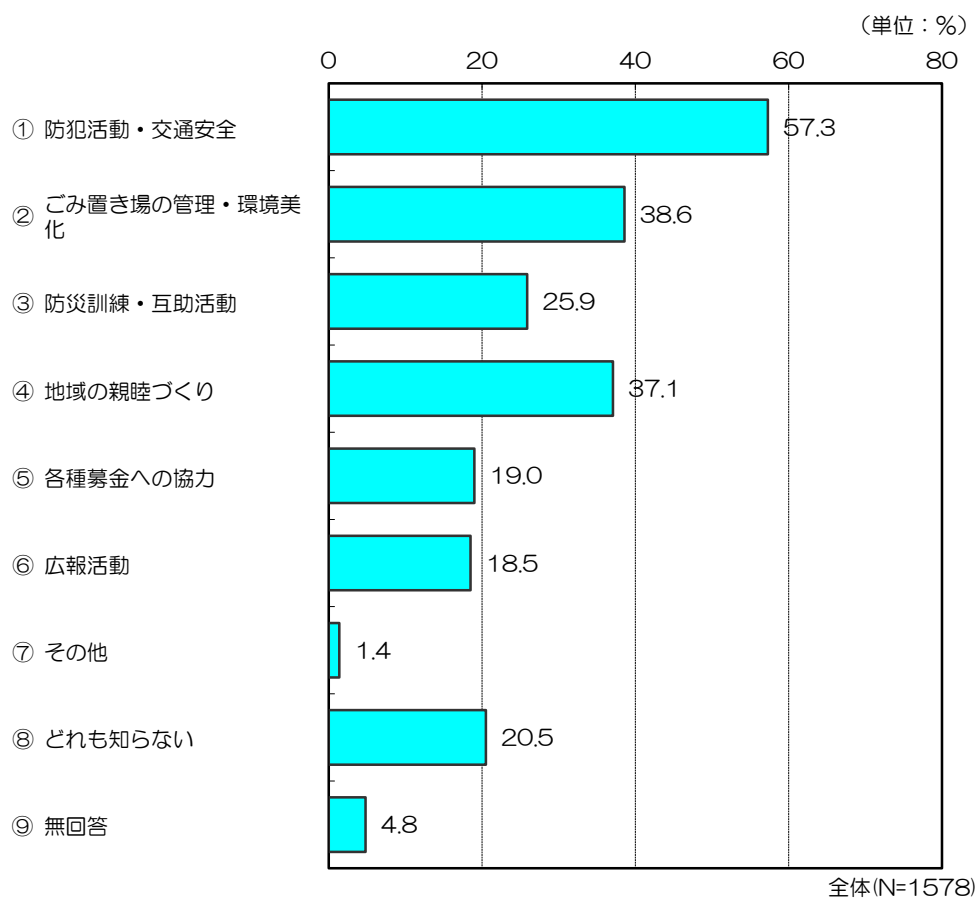
【居住地域別の考察】

居住地域別にみると、加入率は『G地域』で78.1%と最も高く、『F地域』で67.7%と最も低い。他の地域の加入率はいずれも約7割～7割強である。(図表 2-1-5)

(2) 自治会の役割認知

問 1 2. あなたが知っている自治会の役割はどれですか。(〇はいくつでも)

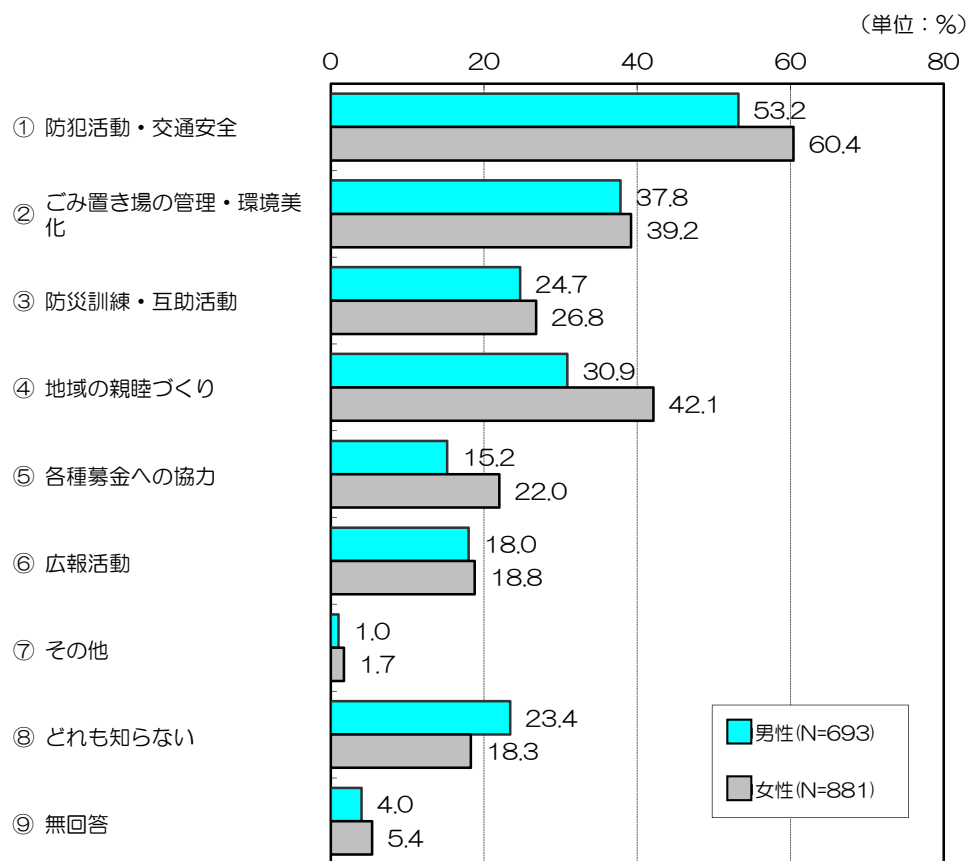
〔図表 2-2 自治会の役割認知【複数回答】〕



【全体の考察】

自治会の役割認知をたずねた。「①防犯活動・交通安全」が57.3%で最も高く、以下、「②ごみ置き場の管理・環境美化」(38.6%)、「④地域の親睦づくり」(37.1%)となっている。
(図表2-2)

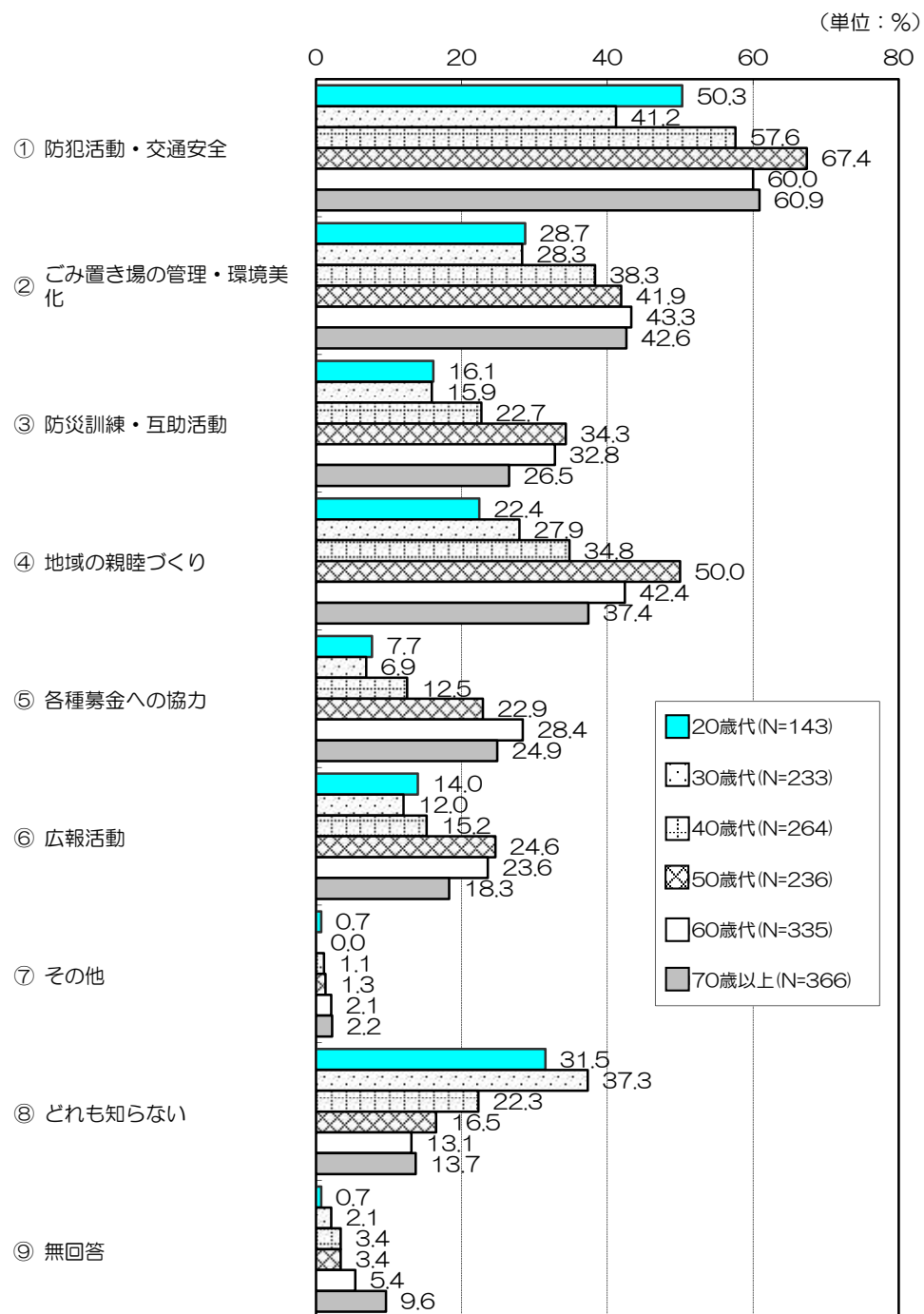
〔図表 2-2-1 自治会の役割認知【複数回答】（性別）〕



【性別の考察】

性別にみると、「④地域の親睦づくり」は『女性』が『男性』を 11.2 ポイント、「①防犯活動・交通安全」は『女性』が『男性』を 7.2 ポイント上回っている。(図表 2-2-1)

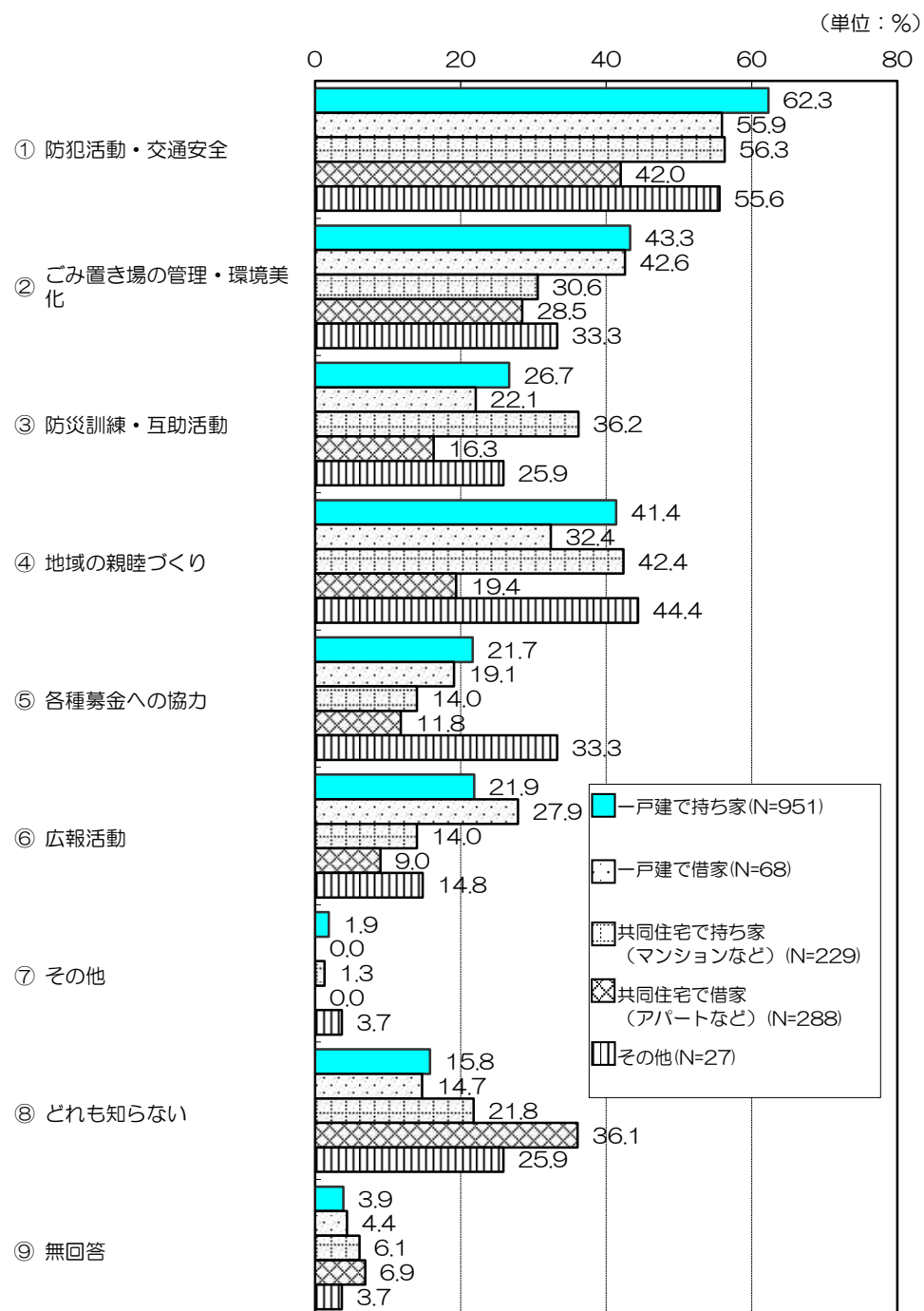
〔図表 2-2-2 自治会の役割認知【複数回答】（年代別）〕



【年代別の考察】

年代別にみると、『20～30 歳代』は全体的に認知率が低くなっている。(図表 2-2-2)

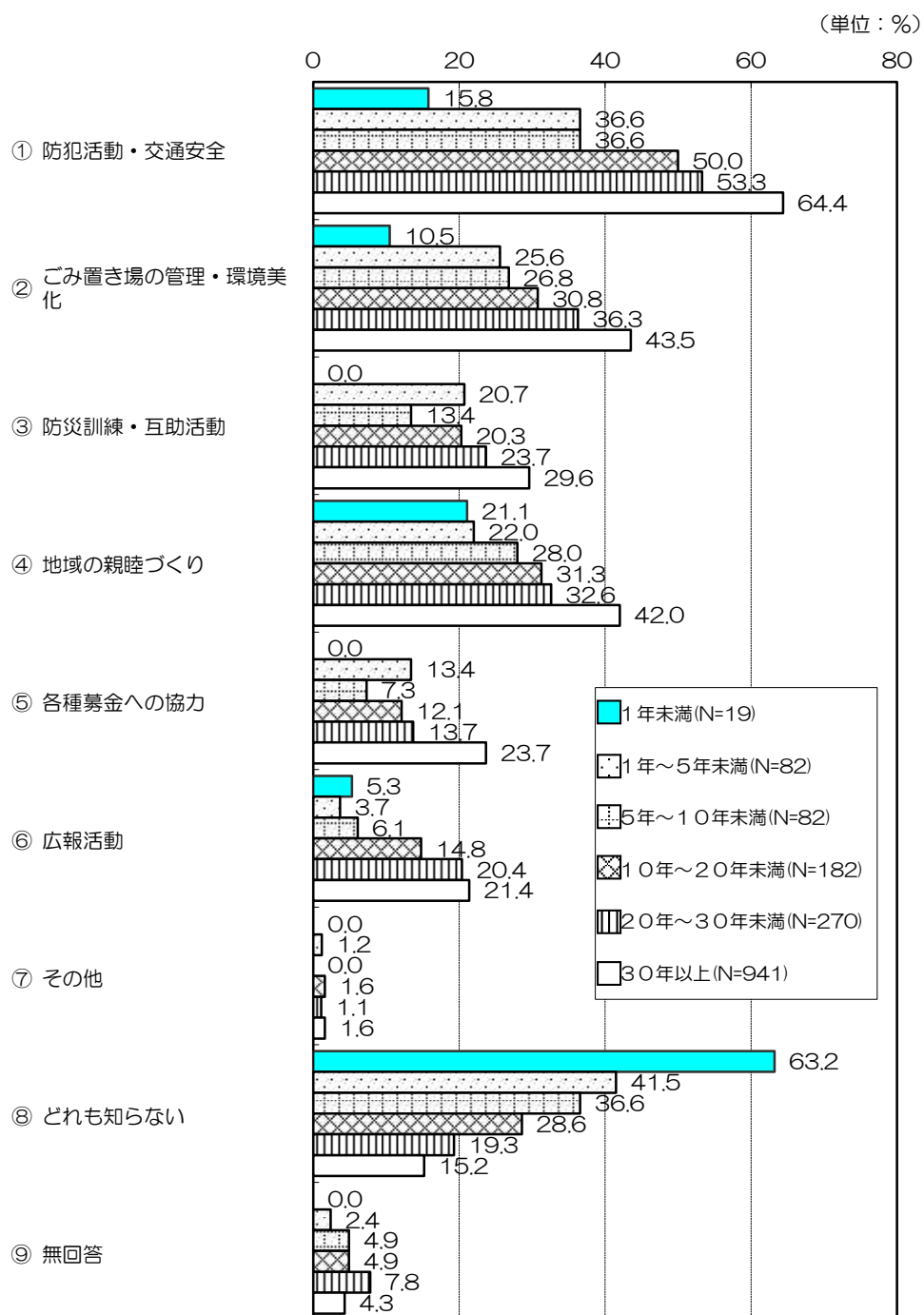
〔図表 2-2-3 自治会の役割認知【複数回答】（住宅状況別）〕



【住宅状況別の考察】

住宅状況別にみると、『一戸建て持ち家』『一戸建て借家』の一戸建てで全体的に認知率が高くなっているが、「③防災訓練・互助活動」「④地域の親睦づくり」は『共同住宅で持ち家』が最も高くなっている。
(図表 2-2-3)

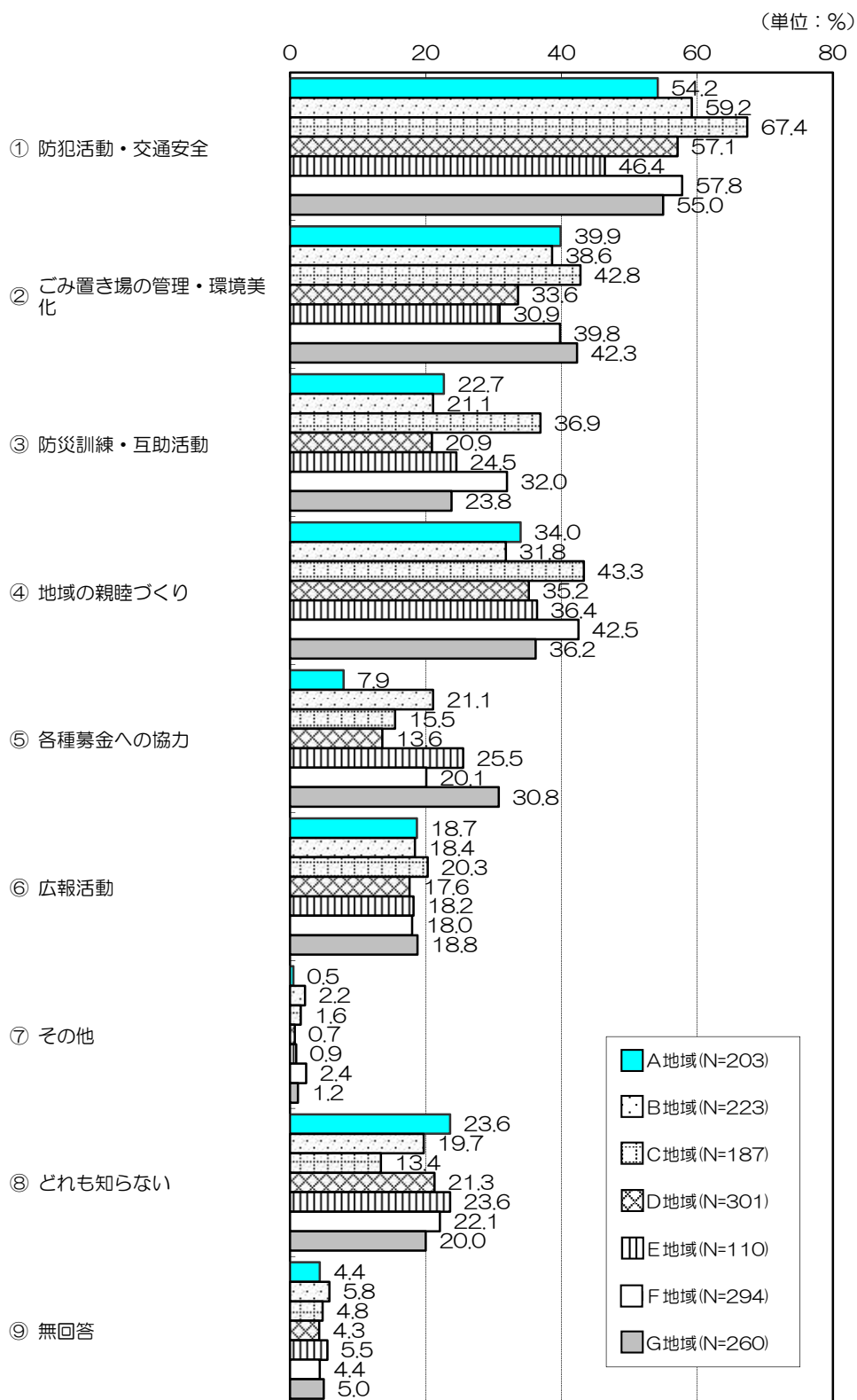
〔図表 2-2-4 自治会の役割認知【複数回答】（居住年数別）〕



【居住年数別の考察】

居住年数別にみると、居住年数が長いほど認知率が高くなっており、『1年未満』は「⑧どれも知らない」が63.2%と高くなっている。(図表 2-2-4)

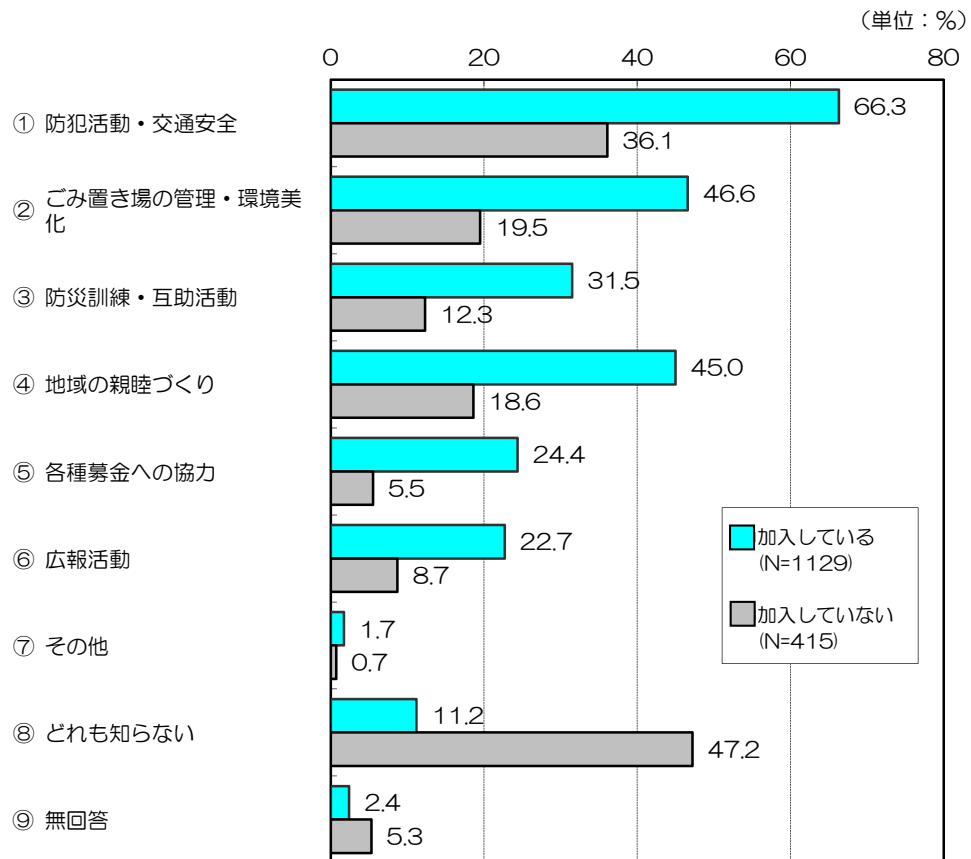
〔図表 2-2-5 自治会の役割認知【複数回答】（居住地域別）〕



【居住地域別の考察】

居住地域別にみると、『C地域』で全体的に認知率が高くなっている。『E地域』では「①防犯活動・交通安全」「②ごみ置き場の管理・環境美化」が他地域に比べ低くなっている。(図表 2-2-5)

〔図表 2-2-6 自治会の役割認知【複数回答】（自治会加入別）〕



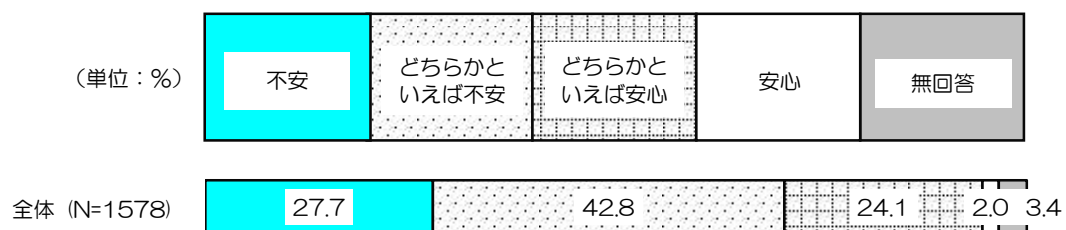
【自治会加入別の考察】

自治会加入別にみると、「⑧どれも知らない」を除いた全ての項目で『加入している』が『加入していない』を大きく上回っており、特に「①防犯活動・交通安全」では『加入している』が『加入していない』を30.2ポイント上回っている。『加入していない』では、「⑧どれも知らない」が半数弱の47.2%となっている。(図表 2-2-6)

(3) 街頭犯罪の不安感

問 13. 街頭犯罪の不安感と地域の安心感についておたずねします。街頭犯罪に対して不安感がありますか。(○は1つだけ)

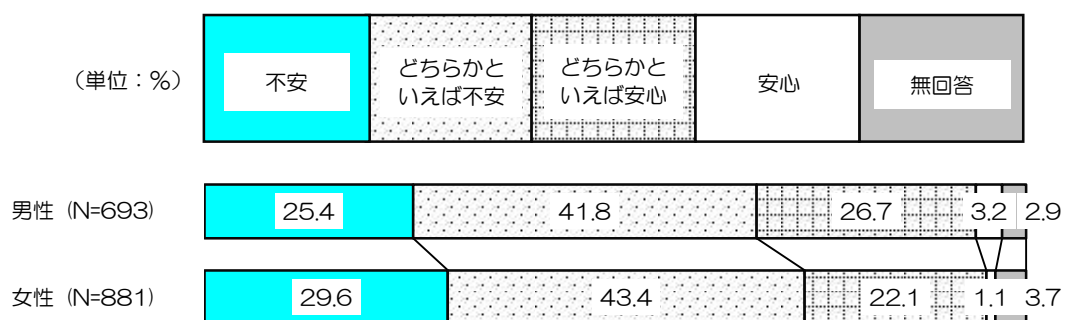
〔図表 2-3 街頭犯罪の不安感〕



【全体の考察】

街頭犯罪の不安感をたずねた。「どちらかといえば不安」が42.8%で最も高く、次いで、「不安」が27.7%、「どちらかといえば安心」が24.1%となっている。(図表2-3)

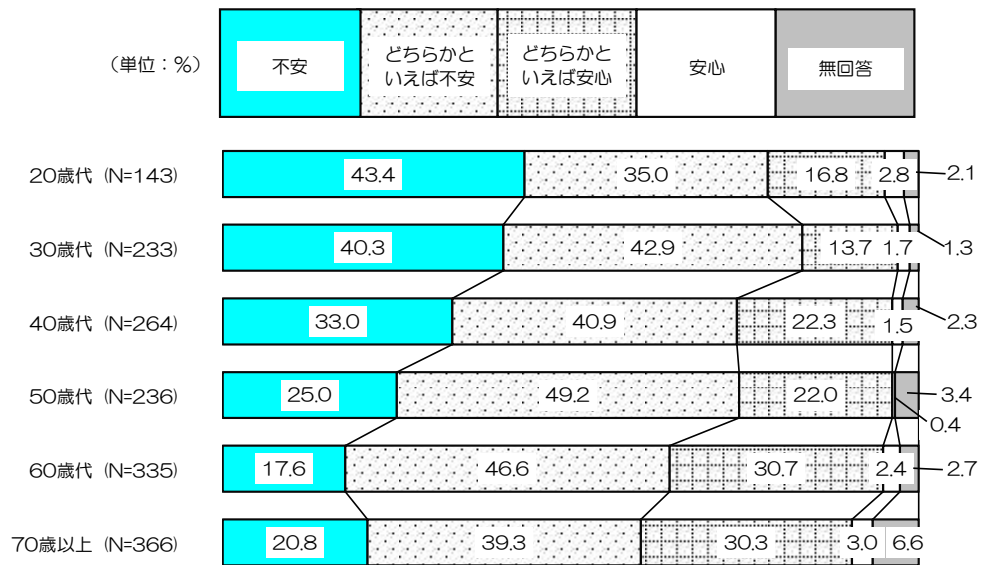
〔図表 2-3-1 街頭犯罪の不安感 (性別)〕



【性別の考察】

性別にみると、“不安計”(「不安」+「どちらかといえば不安」)で『女性』が『男性』を5.8ポイント上回っている。(図表 2-3-1)

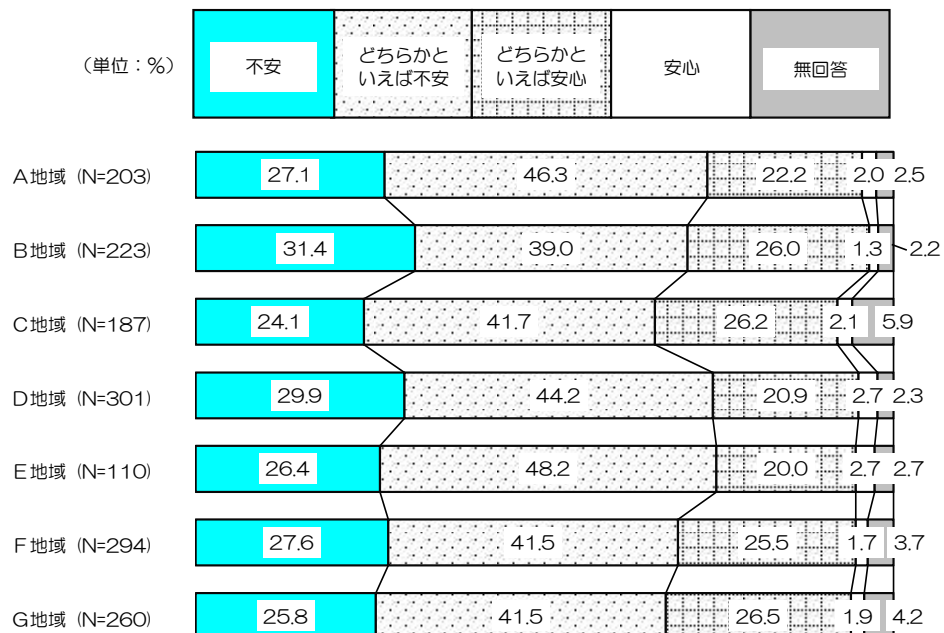
〔図表 2-3-2 街頭犯罪の不安感（年代別）〕



【年代別の考察】

年代別にみると、年代が低くなるにつれ不安感が高くなっており、“不安計”は『20～30 歳代』では8割前後なのに対し、『60 歳以上』では約6割～6割強にとどまっている。(図表 2-3-2)

〔図表 2-3-3 街頭犯罪の不安感（居住地域別）〕



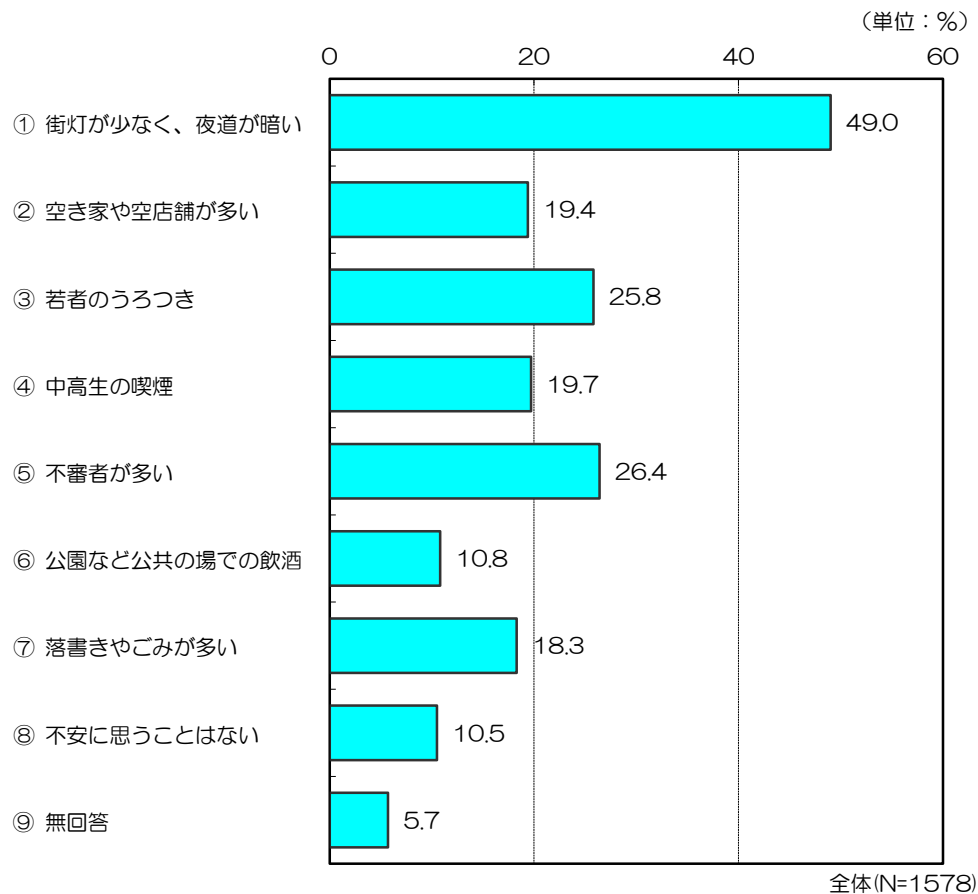
【居住地域別の考察】

居住地域別にみると、“不安計”は『A地域』『D地域』『E地域』で7割強～7割半と高く、『C地域』で65.8%と低くなっている。(図表 2-3-3)

(4) 街頭犯罪以外の不安

問 1 4. 街頭犯罪以外で不安に思うことはどんなことですか。(〇はいくつでも)

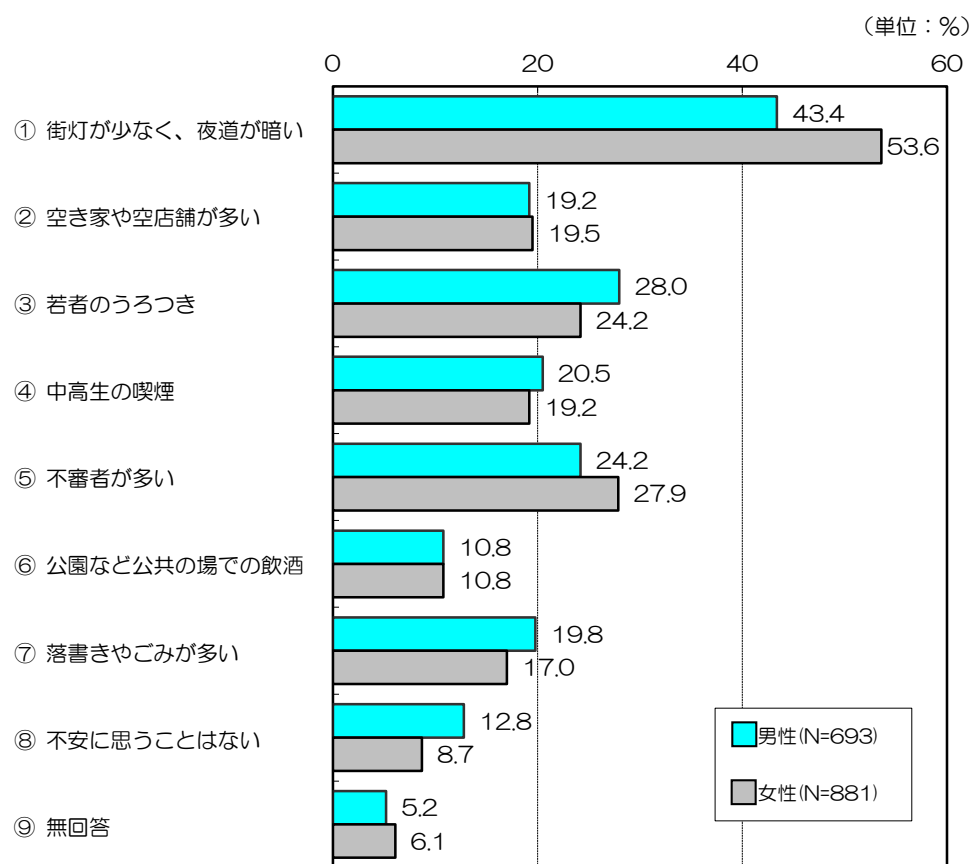
〔図表 2-4 街頭犯罪以外の不安【複数回答】〕



【全体の考察】

街頭犯罪以外で不安に思うことをたずねた。「①街灯が少なく、夜道が暗い」が49.0%で最も高く、以下、「⑤不審者が多い」(26.4%)、「③若者のうろつき」(25.8%)となっている。(図表2-4)

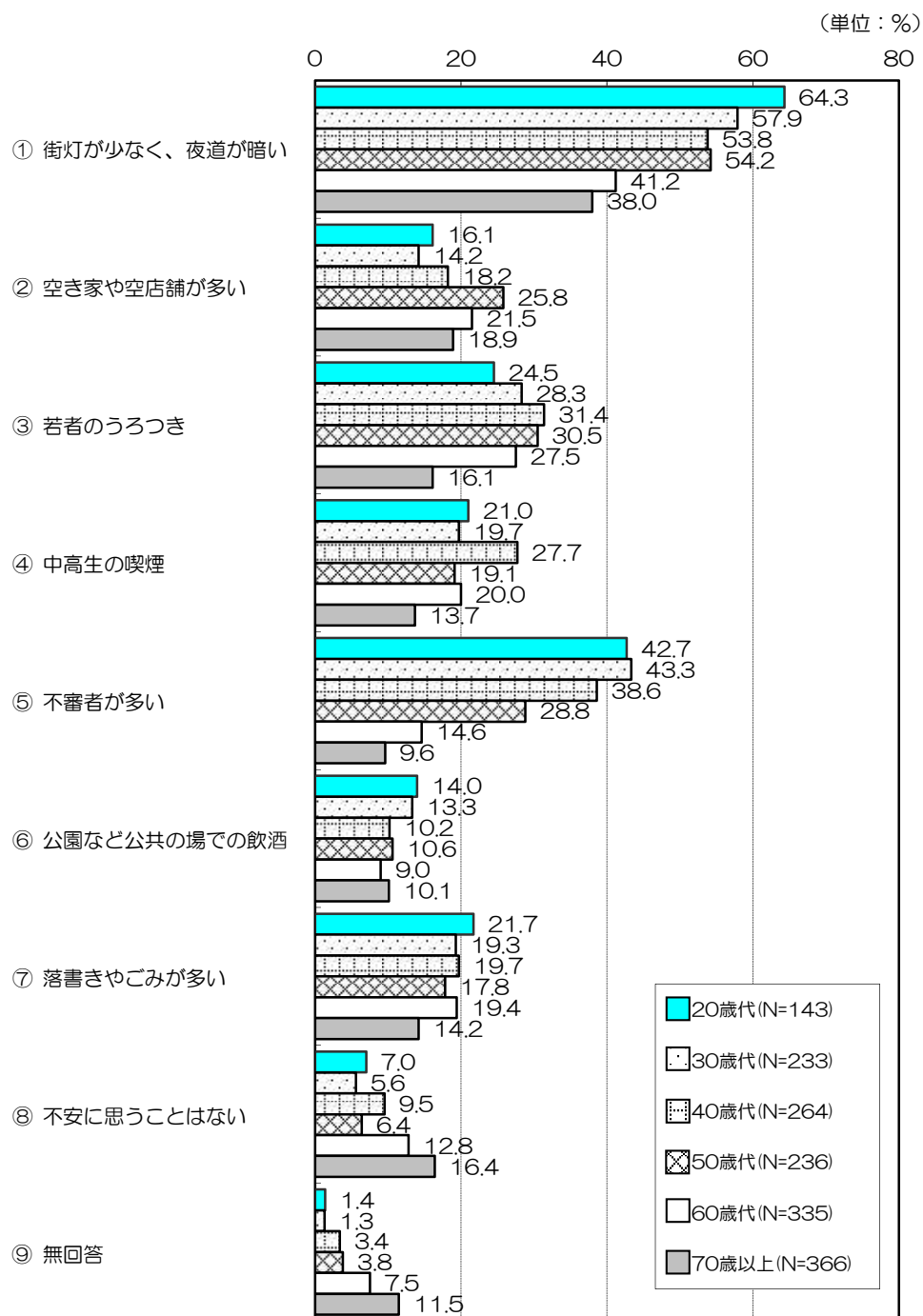
〔図表 2-4-1 街頭犯罪以外の不安【複数回答】（性別）〕



【性別の考察】

性別にみると、「①街灯が少なく、夜道が暗い」は『女性』が『男性』を 10.2 ポイント上回っている。
(図表 2-4-1)

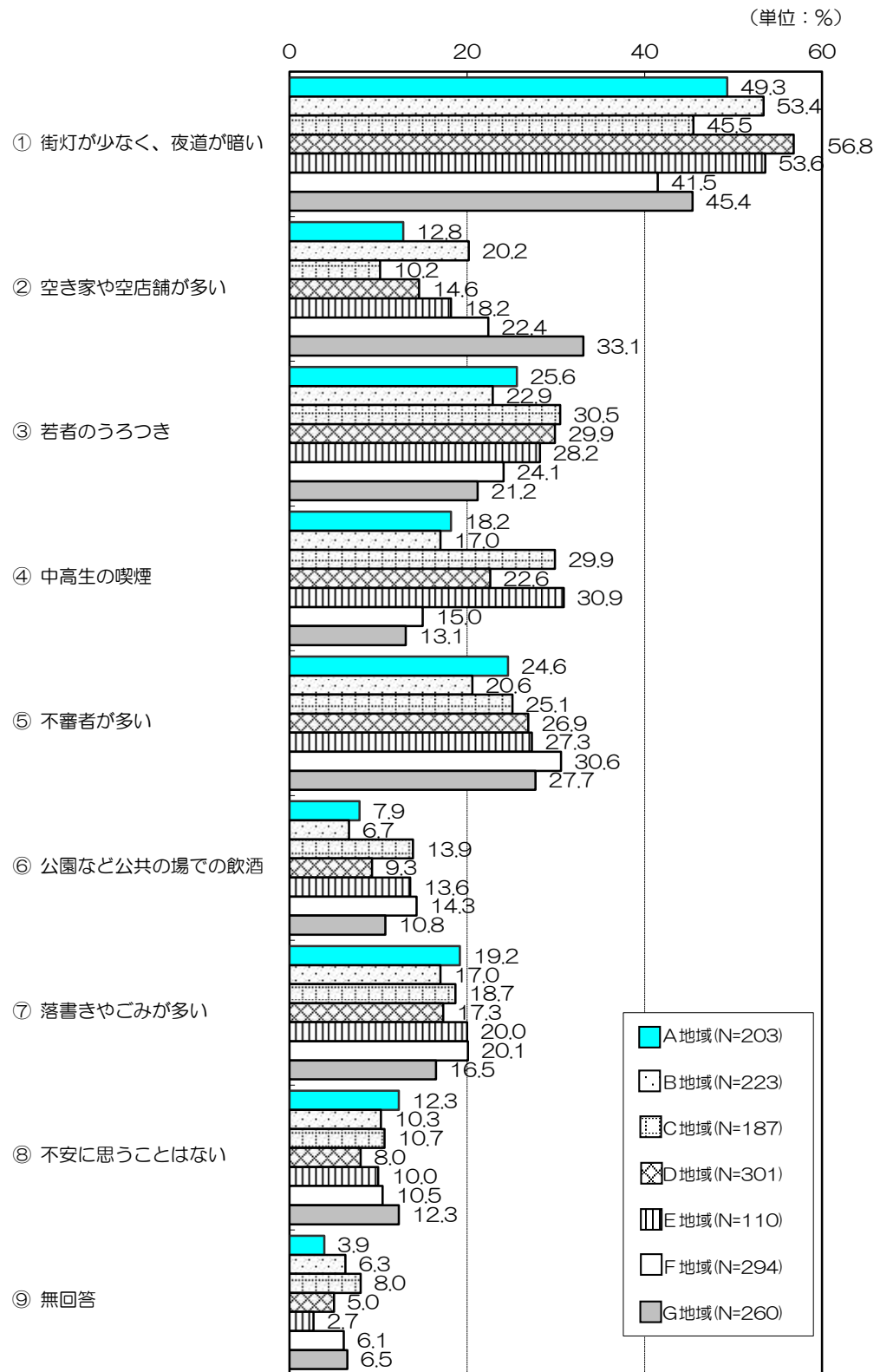
〔図表 2-4-2 街頭犯罪以外の不安【複数回答】（年代別）〕



【年代別の考察】

年代別にみると、「①街灯が少なく、夜道が暗い」「⑤不審者が多い」は、いずれも年代が低くなるほど高くなっている。(図表 2-4-2)

〔図表 2-4-3 街頭犯罪以外の不安【複数回答】（居住地域別）〕



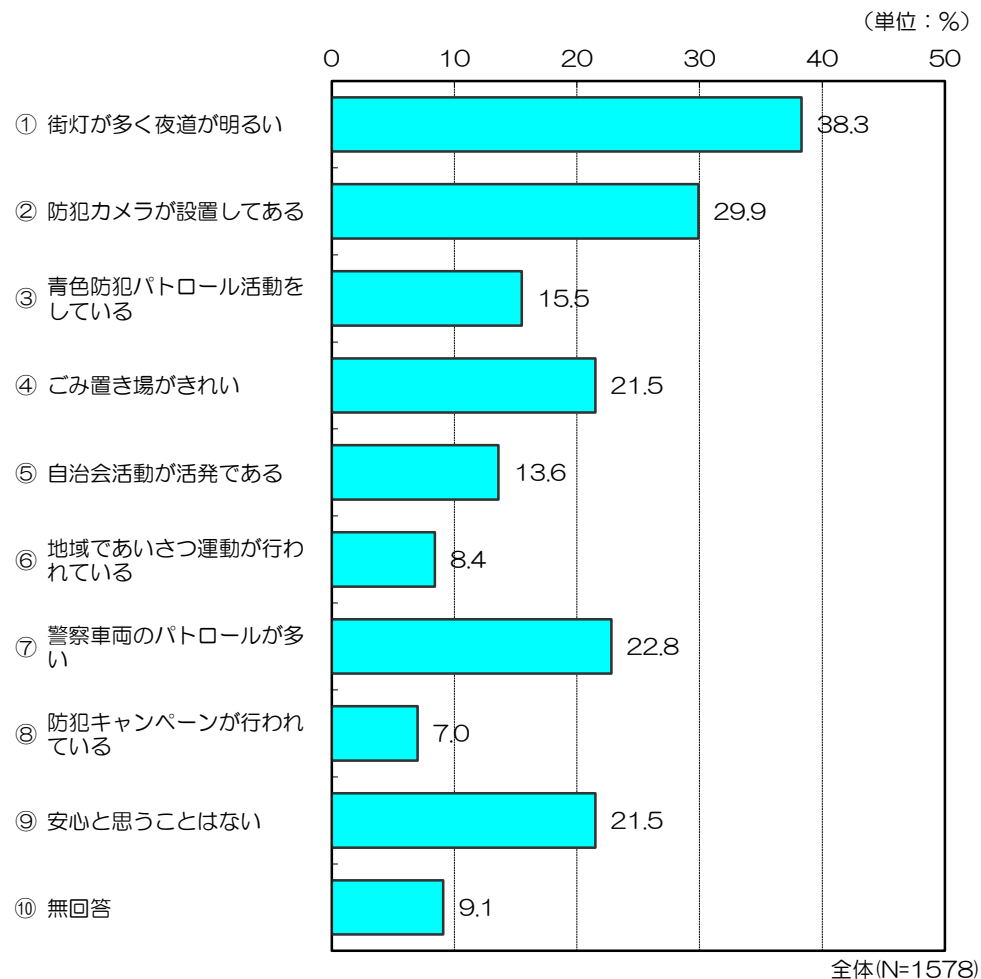
【居住地域別の考察】

居住地域別にみると、「①街灯が少なく、夜道が暗い」は『B地域』『D地域』『E地域』で特に高くなっている。また、『G地域』は、「②空き家や空店舗が多い」が他地域に比べ高い。(図表 2-4-3)

(5) 安心感を感じることに

問 15. どんな点に安心感を感じますか。(〇はいくつでも)

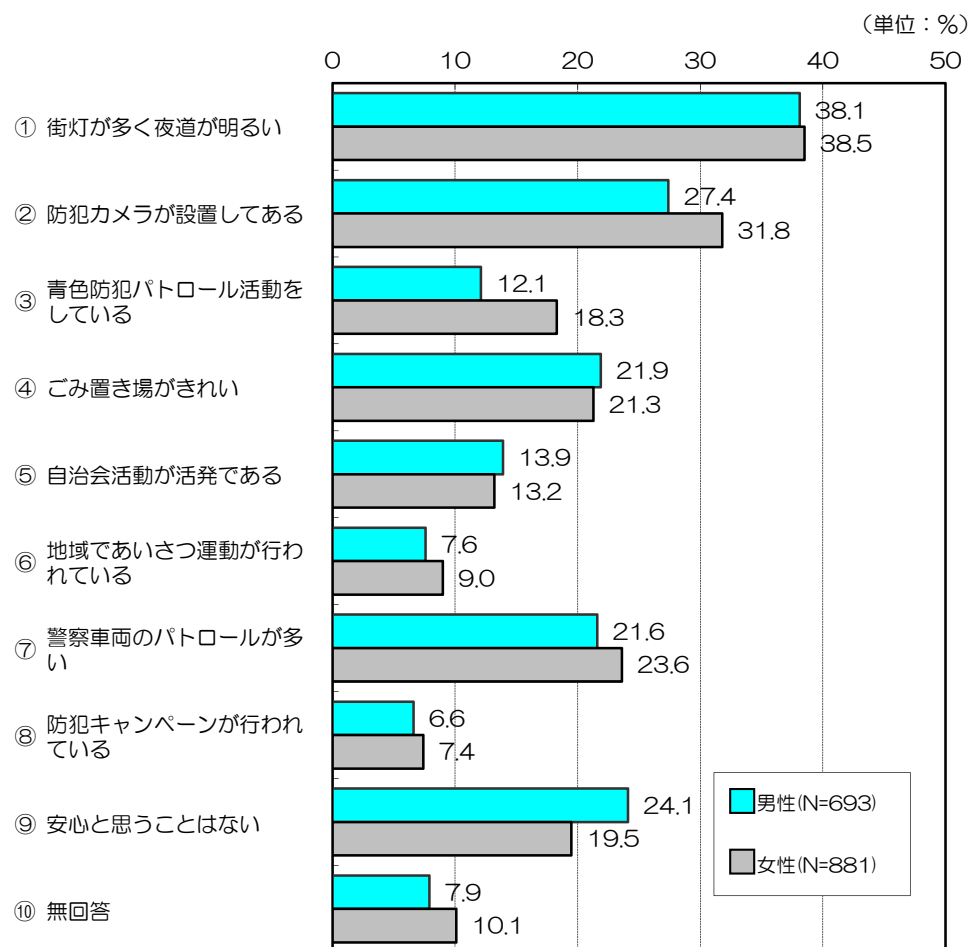
〔図表 2-5 安心感を感じることに【複数回答】〕



【全体の考察】

安心感を感じることをたずねた。「①街灯が多く夜道が明るい」が38.3%で最も高く、以下、「②防犯カメラが設置してある」(29.9%)、「⑦警察車両のパトロールが多い」(22.8%)となっている。(図表2-5)

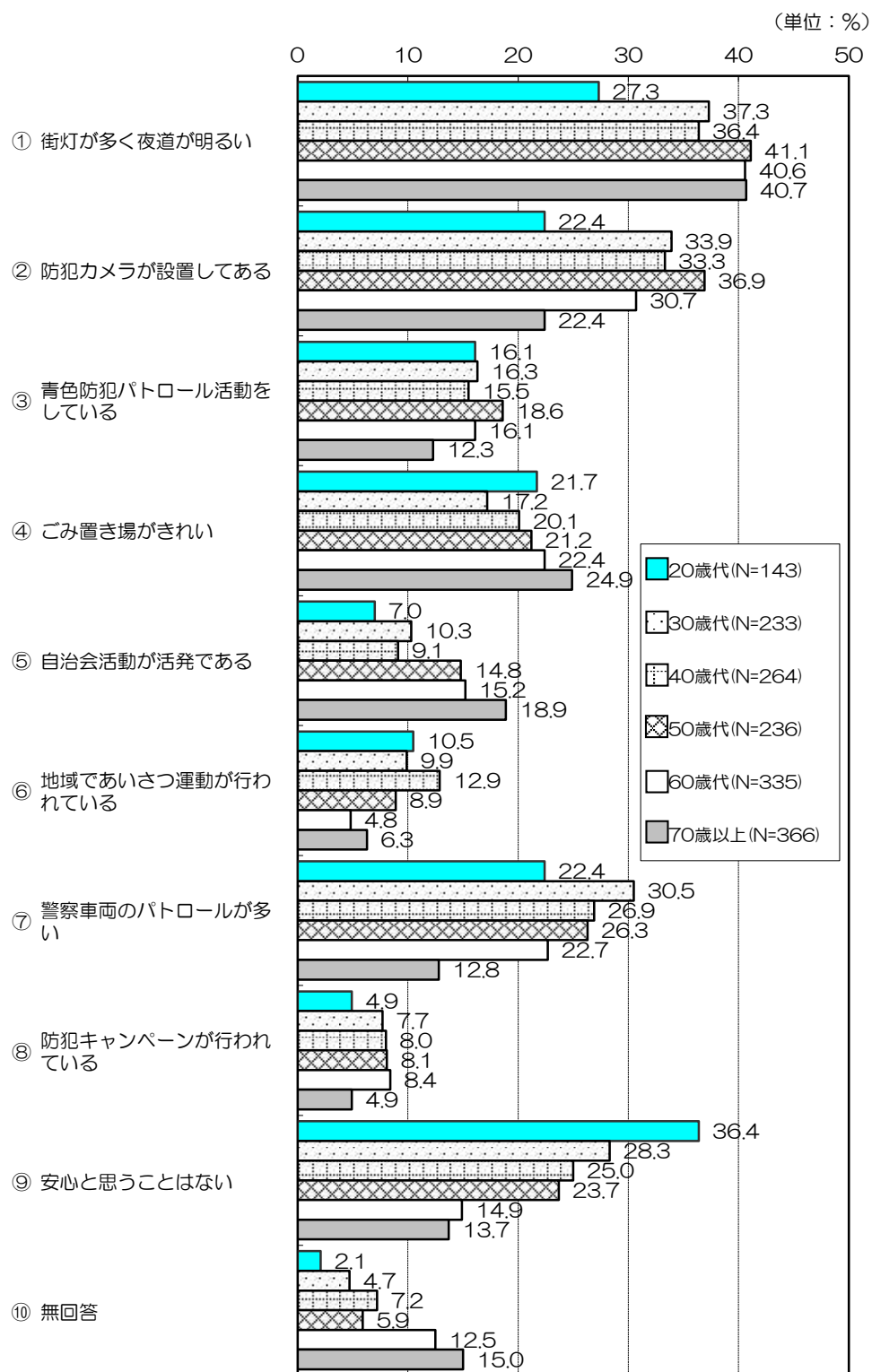
〔図表 2-5-1 安心感を感じる事【複数回答】（性別）〕



【性別の考察】

性別にみると、「③青色防犯パトロール活動をしている」は『女性』が『男性』を 6.2 ポイント上回っている。『男性』は『女性』に比べ「⑨安心と思うことはない」が 4.6 ポイント上回っている。(図表 2-5-1)

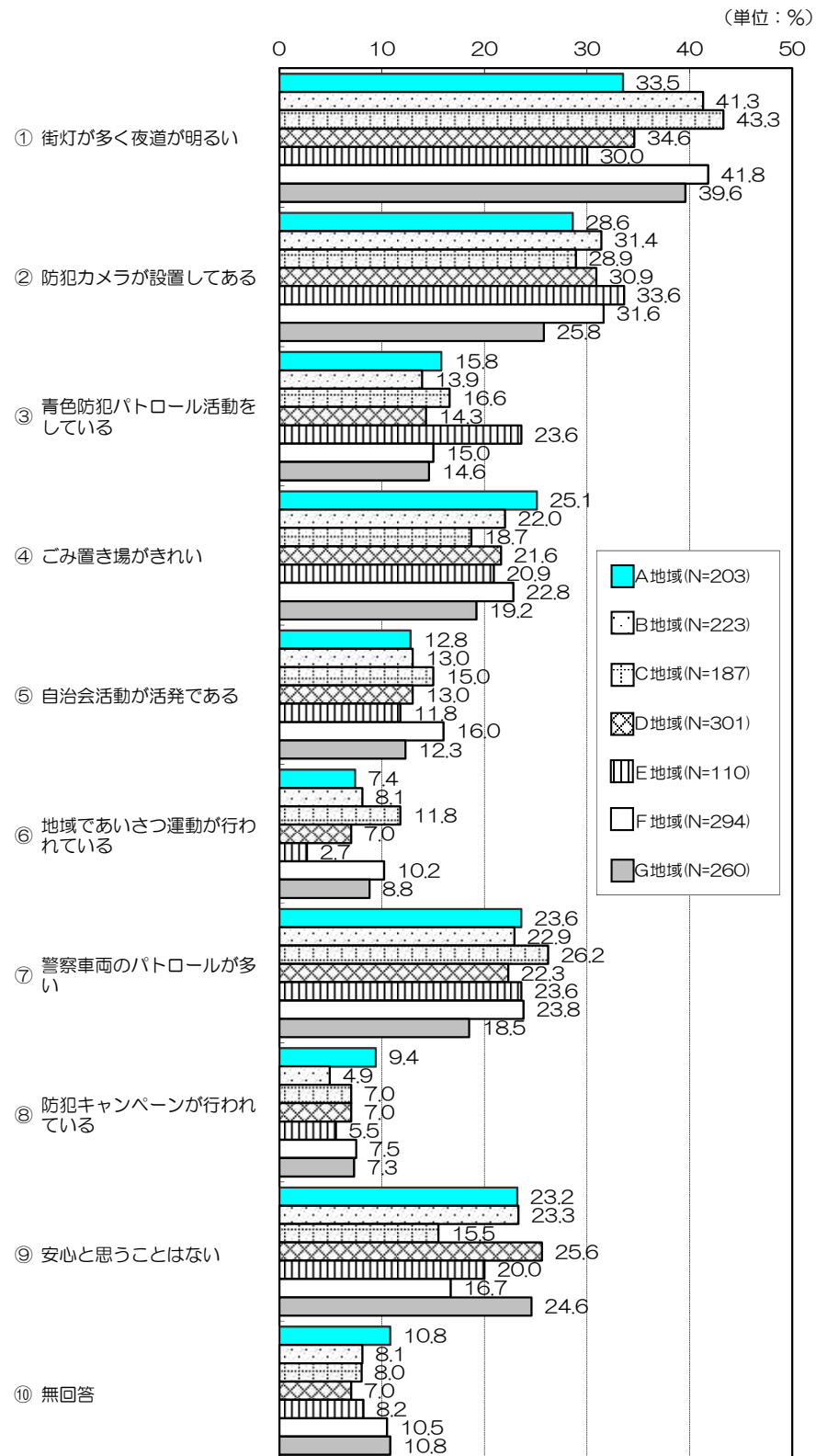
〔図表 2-5-2 安心感を感じる事【複数回答】（年代別）〕



【年代別の考察】

年代別にみると、「⑨安心と思うことはない」は年代が低くなるにつれ高くなっており、最も高い『20歳代』で36.4%、最も低い『70歳以上』で13.7%となっている（図表 2-5-2）

〔図表 2-5-3 安心感を感じる事【複数回答】（居住地域別）〕



【居住地域別の考察】

居住地域別にみると、「①街灯が多く夜道が明るい」は、『B地域』『C地域』『F地域』『G地域』で4割前後と高く、『E地域』で3割と低い。『E地域』は、「③青色防犯パトロール活動をしている」が他地域に比べ高い。(図表 2-5-3)